

抄録

在宅脳卒中患者の介護者における介護負担感と生活満足度調査

本文：

在宅脳卒中患者の介護者は患者の介護度が高いほど負担感が増加し生活満足度が低下することが推察されたため、当施設の訪問リハビリを利用している脳卒中患者主介護者を対象にアンケートを行った。調査内容は Zarit の介護負担尺度、SF-8 とした。併せて担当療法士に対し家族への支援実施の有無を聴取した。結果、対象者 58 名に依頼し 45 名から回答を得た。介護者の平均年齢 65.9 歳、平均介護期間 56.7 ヶ月、続柄は配偶者 34 名、子または子の配偶者 11 名。Zarit の介護負担尺度：全体平均 24 点、介護 1：18、介護 2：17.1、介護 3：34.9、介護 4：37.6、介護 5：28.7 点であった。SF-8：PCS 身体的サマリースコア/MCS 精神的サマリースコア：全体平均 46.8/46.1 点、介護 1：50.1/53.3 点、介護 2：52.5/46.6 点、介護 3：46.1/46.0 点、介護 4：42.3/43.3 点、介護 5：43.1/46.8 点で全ての介護度で国民平均値よりも低下していた。療法士の家族に対する支援：全体の 55%が傾聴等の心理的サポートを実施し、67%が介助方法の指導を実施しており、介護度が高いほど家族への支援を行っている割合が高い傾向があった。結果より、介護負担感、生活満足度は患者の介護度による明らかな差がみられなかった。これは介護負担感や生活満足度が主観的な評価であること、介護者の性別や年齢、身体状況、家庭環境だけでなく個人の価値観や介護意識が与える影響が大きいためだと考える。

脳卒中在宅介護者の介護負担感に与える介護度の影響

<はじめに>

脳卒中は死亡原因第3位であり、リハビリテーションの対象となる疾患においても多くを占める。継続的に医療を受けている脳卒中患者は約147万人と推定され、介護保険制度の要介護者のうち約34%が脳卒中で、寝たきり患者の約4割が脳卒中後遺症によるとされている。脳卒中発症後は病院で早期よりリハビリテーションを開始し、自宅退院後は介護保険サービスを利用する者が多く、家族の介護や支援が必要となる。脳卒中後遺症は消失するものではなく、本人、家族ともに何らかの生活上の困難を抱えている場合がある。そのため、訪問リハビリテーションを提供する際は、利用者の身体機能維持向上だけでなく、家族ケアや家族の生活に対する満足感が保たれているかも配慮する必要があるが、家族がどの程度負担を感じているか、どのような生活を送っているかを実際に聞くことができる機会は少ない。そこで、この度、当クリニックより訪問リハビリテーションを実施している利用者で、脳卒中の既往がある者の主介護者を対象にアンケート調査を行った。介護度が高いほど在宅介護者の負担感は高くなると思われ、介護負担感が生活満足度に与える影響を調べることを目的とした。

<方法>

アンケート内容は、介護者に対し Zarit の介護負担感尺度、SF-8、訪問リハビリに対する希望を聴取した。担当療法士に対し、利用者の一般情報（年齢、疾患、高次脳機能障害の有無、利用しているサービス）、Barthel Index の記入を依頼した。アンケートは手渡し式とし、記入してから一週間または二週間後に回収した。調査期間は・・・・

<統計処理>

<結果>

アンケートの回収率は %（48名中 名）であった。

一般情報

・利用者内訳：平均年齢 才

要介護度：要介護1 2名、要介護2 名、要介護3 名、要介護4 名、要介護5 名

疾患：脳卒中 名、脳出血 名、くも膜下出血 名

BI：平均 点

高次脳機能障害の有無

他介護保険サービス利用状況

・介護者内訳：平均年齢 才 性別男性 名・女性 名

・利用者との続柄：配偶者（夫または妻） 名、子供または子供の配偶者 名、その他 名

・介護期間：平均 ヶ月 1年未満 名、1年以上2年未満 名、2年以上3年未満 名、3年以上4年未満 名、4年以上5年未満 名、5年以上 名

・Zarit の介護負担尺度：全体平均 点

介護1点, 介護2点, 介護3点, 介護4点, 介護5点

・SF-8: PCS 全体平均点

介護1点, 介護2点, 介護3点, 介護4点, 介護5点

MCS 全体平均点

介護1点, 介護2点, 介護3点, 介護4点, 介護5点

介護度別では有意差を認めなかった.

<考察>

脳卒中の在宅介護者は, 利用者の介護度が高くなるほど介護負担感の増加やQOLの低下があると仮説を立てていたが, 今回の調査結果からは介護度による有意差はなかった.

○なぜ差が生じなかったか?いずれも主観的な尺度, 生活環境や利用者との関係性, また家の外に家の内状を知られたくない…という思いがあったためか?

主観的な尺度についての論文…

家族の関係性についての論文…

介護者の年齢や性別による介護負担感, QOLに違いがあると仮定したが, 結果的には背う別, 年齢による有意差も認めなかった.

介護期間については・・・